



11月3日



青い海と
森の
音楽祭

青公大で室内楽演奏会

実行委と大学が連携協定

協定締結式に出席した（左から）荒谷副
実行委員長、塩越実行委員長、高坂理事
長、神山学長

東奥日報社などをつくる
青い海と森の音楽祭実行委
員会は、今年の第2回音楽
祭（10月31日開幕）の一環
として、11月3日に青森市
の青森公立大学で室内楽演
奏会を開く。実行委と同大
学が20日、連携に向けた協
定を締結し、企画や運営面
などで協力しながら音楽を
通じたまちづくりを進め
る。

豊かな自然の中で一流の
音楽を楽しむという音楽
祭のコンセプトに、同大学
の環境が適しているという
ことから開催場所に決定。
企画や広報、運営などを学
生が担い、人材育成の場と
する狙いもある。

同日、同市の東奥日報新
町ビルで協定締結式が行わ

アウトリーチ先を公募 3月2日まで



18・1135）へ。

青い海と森の音楽祭実行委員会
は、県内の学校や介護・福祉施設な
どに出向いて交流するアウトリーチ
（出前演奏会）の訪問先を3月2日
まで公募している。

アウトリーチは10月31日から11月
2日まで、午前と午後各1カ所を訪
問し、指揮者の沖澤のどかさんと演
奏家たちが生演奏を披露する。

対象は県内の小、中、高、特別支
援学校、高齢者施設、障がい者支援
施設、児童福祉施設などで取材協力
できる団体。費用は不要。

応募方法は音楽祭公式ホームペー
ジの所定の申込書に必要事項を記入
し、郵送かメール、ファクスで申し
込む。詳細は2次元コードから。問

れ、実行委員長の塩越隆雄
東奥日報社会長、副実行委
員長の荒谷達也同社常務事
業局長、青森公立大学の高
坂幹理事長、神山博学長が
協定書に署名した。

塩越実行委員長は、一流
の音楽家と学生の交流は
「学生にとって相当なイン
パクトになる。演奏会を企
画するということも自信に
なると思う」と述べた。高
坂理事長は大学のミッショ
ンである地域貢献にも大き
な成果となる一とした上で
「学生にプロの仕事に触れ
てもらおう実践的な機会にな
る」と話した。

同音楽祭は青森市出身の
指揮者・沖澤のどかさんが
芸術総監督、五所川原市出
身のソプラノ歌手・隠岐彩
夏さんが音楽主幹として開
催を呼びかけ、昨年初めて
実現した。1週間だった会
期を今年は9日間に増や
し、より充実した内容を展
開する。（秋村有香）